

群馬県立自然史博物館の使命と事業方針

○ 使 命

「未来に伝える博物館」

群馬の自然とそのなりたちに関する資料や情報を集め、未来に伝えます。

「魅力を引き出す博物館」

群馬の自然とそのなりたちを探り、その価値を明らかにし、群馬の魅力を引き出します。

「知を広め、高める博物館」

多様な学びの場を提供し、知を広め、高めます。

○ 事業方針

1 資料の収集・保存と活用 （「未来に伝える博物館」）

群馬の自然とそのなりたちに関する資料やそれらを明らかにするための資料を、様々な手段で継続的に収集します。収集した資料は、調査研究を行い、「群馬県の宝」としての価値を明らかにし、整理・保管し未来に伝えます。また、価値を明らかにした資料は、展示等で広く県民に公開するとともに、他の博物館や研究者、マスコミなどに対し積極的に情報提供を行います。

2 調査研究 （「魅力を引き出す博物館」）

群馬の自然とそのなりたちを明らかにする学術的な研究を、収集した資料や現地調査などをもとに、県内外の関連機関や専門家と連携しながらすすめ、新たな事実や価値などの知見の発見に努めます。また、その成果を展示や広報活動等を用いて広く県民に還元するとともに、群馬の魅力を引き出します。

3 展示 （「知を広め、高める博物館」）

県民が群馬の自然とそのなりたちに関する理解を深め、楽しみながら自然の本質を学べる施設とするため、以下の5点に配慮した展示を行います。

- ①資料はできる限り実物を展示します。
- ②資料を身近に展示し、実物を実感してもらいます。
- ③資料に直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がけます。
- ④県民ニーズに合わせた魅力ある企画展示・特別展示を心がけます。
- ⑤調査研究の成果や収集した資料の公開など新知見の情報発信を行う企画展示や特別展示を心がけます。

4 教育普及 （「知を広め、知を高める博物館」）

群馬の自然とそのなりたちについて、調べたり、体験したり、楽しんだりしながら学ぶことができる多様な学習機会を提供することにより、学校教育から生涯学習まで広く深く支援します。

5 情報の発信と公開 （「知を広め、高める博物館」）

博物館刊行物やインターネットなどのメディアを活用して、資料収集や調査・研究の成果、新たな展示の紹介、さまざまな教育普及活動の案内などを積極的に情報発信し、県民が自然やそのなりたちに関する「知」と触れ合う機会を増やします。

6 シンクタンクとしての社会貢献 （「知を広め、高める博物館」）

博物館の有する様々な資源（資料、情報及び職員の専門性）を活用し、自治体や各種団体への専門知識の提供や講師派遣の実施など、シンクタンクとしての機能を充実させます。

7 マネージメント（経営）

施設や運営における危機管理を充実させるとともに、職員の意識改革と資質の向上及び適切な博物館評価システムの構築に取り組み、博物館活動の活性化と利用者の増大を図ります。

○ 事業内容

1 資料の収集・保存と活用

- 1-1 継続的な資料の収集
- 1-2 寄贈、移管等による資料の受入の促進
- 1-3 収集資料の整理とデータベースへの登録促進
- 1-4 文献資料の充実
- 1-5 資料の安全な保管
- 1-6 常設展示室の資料保存環境の改善
- 1-7 収蔵スペースの確保
- 1-8 展示における公開促進
- 1-9 レファレンスのための資料公開の促進

2 調査研究

- 2-1 調査研究活動の推進
- 2-2 調査研究成果の公表
- 2-3 外部研究機関等との連携の推進
- 2-4 外部資金の獲得による調査研究事業の推進

3 展示

- 3-1 常設展示の改善・充実
- 3-2 常設展示の保守・点検の充実
- 3-3 魅力ある企画展・特別展の開催
- 3-4 多様な展示の開催促進
- 3-5 館外での展示の充実
- 3-6 解説業務の充実
- 3-7 常設展示のリニューアルに向けての取り組みの推進

4 教育普及

- 4-1 学びの魅力を感じられる事業の推進
- 4-2 学校教育支援事業の推進
- 4-3 ボランティア活動の充実と活性化
- 4-4 友の会活動の充実と活性化

5 情報の発信と公開

- 5-1 各種刊行物の充実
- 5-2 広報活動の強化
- 5-3 インターネットによる情報発信の推進
- 5-4 メディアへの情報資料提供等の推進

6 シンクタンクとしての社会貢献

- 6-1 レファレンス利用者の拡大
- 6-2 自治体および各種機関・団体への専門知識の提供
- 6-3 講師派遣等の推進
- 6-4 大学教育への寄与
- 6-5 学会・研究会への寄与
- 6-6 博物館施設等との連携強化

7 マネージメント（経営）

- 7-1 安全で利用しやすい博物館施設への改善
- 7-2 観覧者サービスの点検と質的向上
- 7-3 博物館認知度の向上と利用者層の拡大
- 7-4 職員の意識改革と資質の向上
- 7-5 博物館支援組織のあり方等の検討
- 7-6 博物館活動への理解及び外部協力の獲得
- 7-7 防災意識の向上と危機管理体制の強化
- 7-8 博物館評価システムの構築